

## 大鹿村リニア連絡協議会が発足

昨年 11 月 1 日、リニア中央新幹線南アルプストンネル新設（長野工区）の安全祈願・起工式が小渋川非常口施工ヤードで行われ、リニア工事が着工しました。村ではリニア中央新幹線工事に関し、大鹿村民や村を訪れる方々の不安と影響を極力低減するため、工事中における生活及び自然環境への影響対策の確実な実施により、安全安心な地域の維持、将来にわたる環境の保全と活力ある地域の発展を図るよう、リニア事業関係者、長野県、大鹿村及び住民による「大鹿村リニア連絡協議会」を設置し、工事による影響調査の情報や住民意見などを共有し、リニア工事全般に関わる事項について連絡調整を行ってまいります。第 1 回大鹿村リニア連絡協議会が平成 28 年 12 月 19 日、交流センターに於いて、関係者 44 名が出席し開催されました。

### ■第 1 回 リニア連絡協議会（午後 7 時 00 分～8 時 40 分 開催）

- 正副会長を選出（会長）間瀬公夫（副会長）河本明代
- 委員の任期（第 1 期）平成 28 年 12 月 19 日～平成 30 年 3 月 31 日まで、2 期以後は 2 年間
- 委員の構成  
（大鹿村関係委員）下表のとおり  
（長野県関係委員）リニア整備推進事務所、飯田建設事務所、下伊那地方事務所 各担当職員  
（リニア事業関係委員）JR 東海、施工業者

団体名	役職等	氏名（自治会名）
大鹿村議会	議員	河本 明代
大鹿村議会	議員	秋山 光夫
大鹿村農業委員会	会長	神田 武
大鹿村教育委員会	教育委員長	北澤 健
大鹿村自治会長会	自治会長会長	間瀬 公夫
大鹿村商工会	会長	松尾 勲
大鹿村観光協会	協会長	平瀬 長安
大鹿村建設業協会	協会長	小澤 悟
飯伊砂利採取販売協同組合	理事長	宮下 一義
下伊那漁業協同組合 大鹿支部	支部長	小原 寿夫
自治会 ①ブロック	各自治会長	（落合、中尾、清水、文満団地、文満）
②ブロック	〃	（下市場本、下市場大、下市場中、下市場上、上市場）
③ブロック	〃	（沢戸、上蔵、釜沢）
④ブロック	〃	（下青木、上青木、北の原）
⑤ブロック	〃	（西・河合・塩河）
⑥ブロック	〃	（塩原、大栗、北入一、北入二）
⑦ブロック	〃	（中峰、梨原、沢井、入沢井）
大鹿村	総務課長	島崎 英三

※工事の進捗により工事場所や工事車両の通行区間が変わることから、村内 27 自治会を 7 ブロックに分け、ブロックごとの話し合いにより、2 年任期ごとに全員～代表 1 名まで、地区の実情に応じて選出。

## ○リニア工事及び関連工事の説明（JR東海、長野県）

### 【南アルプストンネル工事及び関連工事の状況】

- ・小渋川非常口ヤード整備 11月7日～平成29年2月上旬（予定）
- ・JV事務所・宿舍建設 11月7日～平成29年1月下旬（予定）
- ・県道赤石岳公園線改良工事（予定区間11箇所のうち2箇所が完了）

### 【県道松川インター大鹿線改良工事】

- ・（仮称）西下トンネル 1月下旬からトンネル掘削を開始予定
- ・（仮称）四徳渡トンネル 1月上旬からトンネル掘削を開始予定
- ・現道拡幅区間5-1（西下トンネル下）9月7日～平成29年1月25日（予定）

### 【国道152号市場通り 1月の工事用車両通過台数（予定）】

平均30台/日（往復）、最大50台/日（往復）

### 【国道152号市場通りの交通誘導員の配置状況】

保育所前、小学校前付近に各1名を配置



小渋川非常口ヤード整備



JV事務所・宿舍（沢戸前）

## ○意見交換

委員意見「釜沢集落内での騒音のモニタリング要望について実施いただけるか？」

JR回答「実施します。測定の方法等は今後検討。測定結果の公表方法は村や地元と調整したい。」

委員意見「道路改良等のリニア関連工事車両に識別表示はされているか？」

県回答「今後発注する小渋線の拡幅工事について、他の車両と表示色を変える等して対応したい。」

## ○次回開催について

次回開催を3月中旬以降とし、全27自治会長が出席することを確認して閉会となりました。

### **松川インター大鹿線の通行時間等調査について【調査員を募集します】**

#### ■調査の目的

リニア工事による松川インター大鹿線の通行に対する影響を把握するため、工事用車両の通行の影響が少ない期間と道路改良終了後の影響が心配される期間において、通行所要時間や通行支障箇所・対向車の台数などを調査し、リニアに係る道路改良の通行対策を検証するとともに通行支障箇所を抽出し、道路改良や交通安全対策などの実施に活かすことを目的として、大鹿村で実施します。

#### ■調査の範囲

落合交差点（新落合橋先）～中川村渡場交差点

#### ■調査の方法

（調査員）役場職員及び村外通勤者、村民など一般運転者でご協力いただける方

（調査内容）調査範囲の所要時間、走行中の支障箇所等を調査する。なお、二人以上同乗で運転の安全が確保できる場合は、対向車の台数を調査する。対向車は大型車（4t車以上）及びそれ以外の車の台数を調査する。

（調査方法）調査員が当路線を通行する際に、通常の運転を行い得られた内容を調査表に記入する。

調査表は調査月の翌月5日までに役場総務課に提出する。

（集計方法）役場総務課リニア対策室で集計し、調査期間における通行所要時間の変化、支障箇所や意見などを抽出する。

#### ■調査の期間及び時間

（通行の影響が少ない期間）

平成29年1月～12月の1年間（年末年始・長期休暇は除く）月曜日から土曜日、午前7時～午後8時の間

（道路改良後の影響が心配される期間）

平成31年4月頃～1年間（年末年始・長期休暇は除く）月曜日から土曜日、午前7時～午後8時の間

#### ■調査結果について

- ・リニア連絡協議会で調査結果を共有し、影響対策に係る連絡調整に利用します。
- ・調査結果を村ホームページ・ケーブルテレビで公表します。

#### ■応募方法・お問合せ先

- ・募集は随時行っています。
- ・調査にご協力いただける方は、役場総務課リニア対策室 ☎39-2001 までご連絡をお願いいたします。

\* 現在行われているリニア工事・調査の状況は、大鹿村ホームページ、大鹿村ケーブルテレビ文字放送・データ放送で確認いただけます。